

登録コード	SSC18500	開講年度	2026				
授業題目	計測分離化学演習				担当教員	金 継業 他	
英文授業名	Exercise of Analytical and Separation Chemistry				副担当	巽 広輔・高橋 史樹	
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				実践的な実験手法の解説ならびに実習を通して、専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力ができるようになる。		
(2)授業の概要	担当教員の専門分野に関して基本的かつ実践的な実験手法の解説を行い、実習を通して実際に技術を習得する。授業と実習は担当教員ごとに少人数の班に分かれて実施する。						
(3)授業のキーワード	実務経験のある教員による授業科目、電気分析化学、分光分析化学						
(4)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：実験計画の立て方の解説（専門基礎知識） 第3回：実験計画の立て方の解説（専門応用知識） 第4回：実験計画の立て方の解説（英語知識） 第5回：データ収集法の解説 第6回：データ処理法の解説 第7回：電気化学計測の原理についての解説 第8回：電気化学計測実験（試料の測定） 第9回：電気化学計測実験（データの解析） 第10回：報告会1（電気化学の実験結果の考察） 第11回：分光計測法の原理についての解説 第12回：分光計測の実験（標準試料の測定） 第13回：分光計測の実験（環境試料の分析） 第14回：分光計測の実験（ナノ材料の計測） 第15回：報告会2（分光分析の実験結果の考察）						
(5)成績評価の方法	勉学に取り組む姿勢や中間報告会の発表内容を考慮して総合的評価される。欠席が5回を超えた場合は単位を認めない。遅刻や出席していても居眠りや私語などをしている場合、減点することがある。						
(6)成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としている。 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない						
(7)事前事後学習の内容	本講義は、分析化学（特に機器分析化学、電気分析化学と分光分析化学など）を前提としている。						
(8)履修上の注意	教員との連絡を密に保ち、学習と実験の進捗状況を随時報告すること。 実験に携わる際には、「安全の手引き」を熟読して安全対策に努めること。						
(9)質問、相談への対応	教員実験室にて随時対応する。 金 継業 jin@shinshu-u.ac.jp（理学部A棟304号室） 巽 広輔 tatsumi@shinshu-u.ac.jp（理学部A棟307号室） 高橋史樹 takahashi@shinshu-u.ac.jp（理学部A棟312号室）						
【教科書】	必要に応じて配布、指定する。						
【参考書】	必要に応じて紹介する。						